

感性を揺さぶる南国文化へのオマージュ

1981年にエットーレ・ソットサスによって考案されたテーブルランプです。製品名が示すように、ソットサスは感性的な南国のエキゾチズムに強く惹かれ、西洋中心の機能主義や合理性へのアンチテーゼとしてこのデザインを生み出しました。動物を彷彿とさせるユーモラスかつ抽象的なフォルムと大胆な色使いが特徴のこの作品は、彼のデザイン哲学を体現したメンフィスを象徴する代表作の一つです。

タヒチ

Tahiti

Designed by Ettore Sottsass [1981]

Made in Italy

W.350 D.100 H.700

本体：メタル(カラー塗装仕上げ)

ベース(表面材)：メラミン化粧板

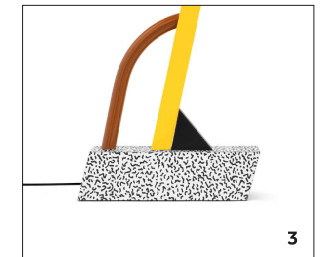
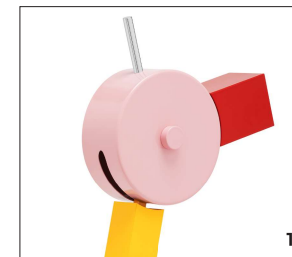
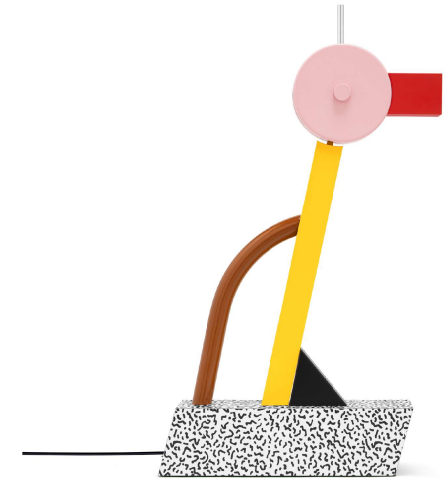
G9 LED電球 3W ×1(全長58mmまで)

※別売り

コード長：2m

中間スイッチ付

¥352,000 (tax-included)



1. 支柱の先端にはピンク色の丸い「頭部」があり、そこから伸びた赤い「くちばし」のような部分から光が放たれる構造です。
2. 特徴的な模様が施されたベースから黄色い支柱が立ち上がり、それを黒い脚部が支えています。
3. ベースに施された抽象的な細菌や微生物のような形状の模様は、ソットサス自身がメンフィスのために考案し、「Bacterio」と名付けたオリジナルパターンです。ソットサスおよびメンフィスの思想を象徴する代表的なパターンの一つとされています。